

令和7年度 北海道中学校体育大会 バレーボール大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技の基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【バレーボール大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・WTO（給水のためのタイムアウト）でこまめな水分補給を行うとともに、回数も多く設定する。
- ・審判員は後部記録席に水分を準備、セット間に水分補給をできるようにする。
- ・生徒役員は、タイムアウトやセット間など、座って休憩・水分補給できるようにする。
- ・生徒役員は、試合中に体調に不安がある場合は、途中でであっても交代できるようにする。
- ・空調の使用や換気が可能な体育館の場合は、積極的に活用する。
- ・大会会場や練習会場に扇風機を設置する。
- ・空調がない会場は、試合間を長めにとり、換気を行う。
- ・試合間を通常より長くとり、その時間で会場の換気を行う。
- ・観戦者へのアナウンスと注意喚起をする。
- ・各会場の救護係と連携し、氷などの準備をする。
- ・監督会議での熱中症対策への啓発資料を配布する。

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

- ・大会役員で協議の上、一時試合を中断したり、暑さ指数が下がるまで換気を行ったりしてもなお、安全な状態が望めずに大会を進めることができないときは、勝ち進んでいるチームで抽選を行い、ブロック代表チーム（全国大会進出チーム）を決定する。